

浄土真宗の教章

—私の歩む道—

聖本宗派

典尊山派

(二)開山祖名

淨土真宗親鸞聖人

ご誕生

(承安三年四月一日)

ご往生

(一二六三年一月十六日)

（弘長二年十一月二十八日）

龍谷山本願寺（西本願寺派）

淨土真宗本願寺（南無阿彌陀佛）

・釈迦如來が説かれた「淨土三部經」

・無量壽經」「仏説無量壽經」「仏説觀

・宗祖親鸞聖人が著述された「正信念佛偈」

・行信証」「高僧和讃」「正像末和讃」

・中興の祖和讃」「蓮如上人のお手紙

（御文章）

（讀）

教義

生義

活義

阿彌陀如來の本願力によつて信心をめぐまれ、念佛を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき淨土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人々を教化する。

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿彌陀如來のみ心を聞き、念佛を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念佛を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿彌陀如來の智慧と慈悲を伝える教団である。それによつて、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。